

資料提供

平成30年10月18日
所 属 県立美術館
担 当 者 横手
電 話 082-221-6246

件 名

縮景園における「松のコモ巻き」について

1 概 要

松の害虫であるマツカレハの幼虫が、越冬のため松の樹から地上へ降りる習性を利用して、「霜降の日」に松の幹に藁で作った「コモ」を、地上から1.5m～2mあたりの位置に30cm～45cmの幅で巻き、荒縄で縛ります。こうすることで、越冬場所として幼虫を誘い込みます。

その後、幼虫が松の樹上に帰る前の3月初めの「啓蟄の日」に、「コモ」を取り外して、幼虫と一緒に処分し、マツカレハを駆除します。晩秋を告げる風物詩にもなっています。

2 日 時

平成30年10月23日（火） 9時～12時（雨天決行）

3 場 所

広島県縮景園（広島市中区上幟町2番11号）

4 コモ巻きする松の本数

376本（園内全ての松）

5 作業風景

